

第 39 回 一橋植樹会 総会

平成 24 年 5 月 19 日 11 時

於 一橋大学佐野書院



《定例作業 100 回記念植樹》

新生植樹会がボランティア作業を開始して 100 回目を迎えたことを記念して、11 月定例作業の開始前に記念式典と記念植樹を行いました。

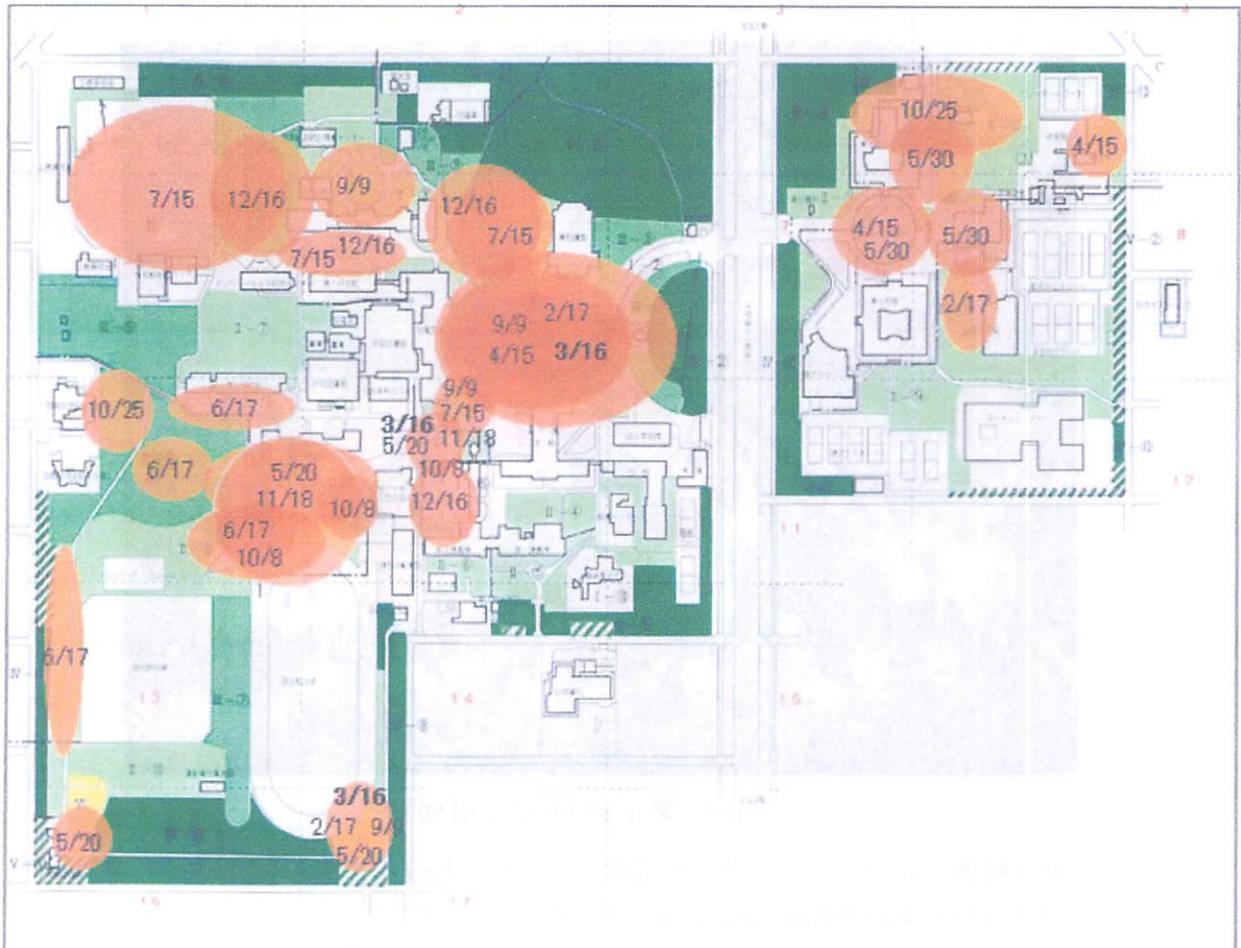
【定例作業 100 回記念式典】



《記念植樹》

シダレザクラを東プラザ北側に植樹しました。

【2011 年度キャンパス全域活動エリアマップ】



第 39 回 一橋植樹会 総会議案

第 1 号議案 平成 23 年度事業報告並びに
決算報告承認の件

第 2 号議案 役員改選承認の件

第 3 号議案 平成 24 年度事業計画並びに
予算承認の件

第1号議案 平成23年度事業報告

昨年の総会で発表した平成23年度事業計画のなかで三つの基本方針を掲げました。一つは、キャンパスの緑の保全と環境整備活動の継続・充実でした。次が、その活動を通してオール橋の交流の輪を広めることでした。この2点は、主にボランティア作業と交流会を着実に実施することを通して実現できたと思います。特に、学生の作業参加者が増加していることは、交流の深まりを感じさせます。

もう一つの方針は、「国立キャンパスの緑や環境を大学の教育に役立てる方策を模索する」ということでした。この点については、24年度に「緑の科学」という植樹会寄附講義開設という形で実現の目途をつけることが出来ました。

今年度も、大学はじめ多くの方々にご協力・ご努力戴きました。厚くお礼申し上げる次第です。

以下、項目別にご報告申し上げます。

1. ボランティア作業

(1) 活動実績

平成23年度は、定例作業として、毎月の作業（8月は休み）と、KODAIRA祭、一橋祭の事前共同作業で、合計13回の作業を行いました。これに当会が作業をサポートしたラグビー場整備を加えて、参加人員は延べ1,277名（対前年比58名増）に達し、その内訳は卒業生502名、教職員71名、学生704名となっております。平均すると毎回100名近いメンバーがキャンパス整備に参加していることとなります。（5頁の付表参照）

(2) 活動内容全般

月次の作業に関しては、大学と十分な調整をしたうえで、時間内に完結できるよう作業の内容、範囲を決定しており、概ね参加者各自が達成感を得られるような組立が出来たと考えます。

年間の作業を通じては、総じて大学の環境美化にそれなりの貢献ができたと考えますが、なかでも台風による倒木や枝折れ被害の整理の過程でひょうたん池から哲学の道に至る一帯の整備が進み、藤棚の復活や「つどいの森」のプレート発掘につながったことは、特筆されます。

そして、何よりも大きな事故もなく作業が円滑に継続できていることを喜びたいと思います。「安全」は今後とも作業での最大のテーマであります。

(3) 定例作業100回記念式典・記念植樹

新生植樹会が、ボランティア作業を開始してちょうど100回目を迎えたことを記念して、11月度の定例作業の開始前にセレモニー及び記念植樹を行いました。

記念式典においては、末賓及び田中顧問の挨拶の後、学長と如水会事務局長より福嶋顧問に表彰状と記念品の贈呈があり、会長より施設課と昭和41年会植樹会サークルに表彰状と記念品が贈られました。

引き続き、東キャンパスに移動して記念植樹に移り、東プラザ北側にシダレザクラを植樹しました。

先輩方のご苦勞・ご努力に思いをはせ、感謝しつつ「継続は力なり」を実感した記念行事でした。

(4) 休日作業

10月度の定例作業を8日（土）に設定し、大学のご協力のもと、前年に続いて休日作業を実施しました。参加者は総勢88名。最も遠方からの参加は名古屋から親子で参加された伊藤さん（昭55法）でした。

作業は3つの班に分かれて、西プラザ横広場のケヤキの根元への植樹（サツキ80本）と、ひょうたん池南側林地の整備とを交代で行い、その後福嶋顧問の先導によるキャンパスツアー、そして東プラザでの交流会と、充実した一日でした。

(5) 作業後交流会

定例作業後の交流会は、毎月の企画も定着しつつあり、裏方を務めるご婦人方や学生諸君の奮闘によって、参加者の評判も良く、いまや植樹会の活動に欠くことのできない要素になっています。今後も、環境問題に対する意識付けなどの機会を設けることも検討しながら、継続していきたいと考えます。

2. 学生との連携

(1) 学生の作業参加促進

作業参加の呼びかけの努力が実り、23年度の学生の作業参加者は、704名に達し前年に比べ106名の増加となりました。KODAIRA祭、一橋祭実行委員やラクロス部、陸上競技部などのメンバーの継続または交代での組織的参加が目につき、学生リーダーの自主的活動を評価したいと思います。

(2) 学生担当の植栽ゾーン誕生

年度計画に織込んだ企画が実現し、西キャンパス生協近くで「国立のお花畑」として目を楽しませてくれました。学生の植樹会への参画意識の高まりを感じました。

(3) 学園祭への参加 卒業記念植樹

KODAIRA 祭と、一橋祭へは、今年度も参加、出展しました。

また、今年度の卒業記念植樹は第6回目になりますが、3月22日に学長ご臨席のもと実施しました。

3. 組織強化活動

(1) 会員の状況

23年度も会員数の拡大に努め、ホームカミングデーや卒業周年記念大会において勧誘活動を展開した結果、約90名の方々に入会いただき、他の入会者と合せて全体で新規会員は146名でした。反面、4月時点で見做し退会者が38名にのぼったこと等から、前年に比べ41名増加の1,285名となりました。(5頁の付表参照)

(2) 年会費

会費収入合計350万円の目標に対し、実績は収支報告の通り334万円となりました。

会費を納入戴きました会員の皆さまには、この場を借り厚くお礼申し上げます。合わせて、ご寄附を戴いた方々及び如水会のご支援に感謝申し上げます。

4. キャンパス外活動

(1) 7月12～13日に、福嶋顧問ご指導のもとに箱根の「坐忘山荘」の庭園及び外周の整備を行いました。

(2) 10月1～2日に、群馬県玉原高原でのブナの苗木植栽作業(福嶋顧問主宰のNPOのプロジェクト)に参加しました。

(3) 12月に計画したが悪天候で延期した里山見学を、4月2日に実施しました。あきるの市横沢入り地区を、福嶋顧問に解説いただきながら見学し、勉強になりました。

5. 広報関連

(1) 「緑の30景」発刊

23度の新しい取り組みの一つとして、キャンパスの緑を学び、キャンパスガイドマニュアル作成を目指しました。そのためにプロジェクトチームが生まれ、10月の休日作業日直前に「緑の30景」という小冊子が発刊されました。大変評判が良く、大学の目にもとまり全国の高校に送られる大学案内に同封されることになりました。

(2) 如水会々報

「植樹会通信」は引き続き毎月2頁を確保し、植樹会の活動、トピックスを掲載。寄稿抜粋、写真も多くて分かりやすい植樹会広報となっています。

(3) ホームページ

毎月更新しつつ、内容の一層の充実を図りました。定例の作業報告などに加え、キャンパス外の活動や海外からの寄稿を掲載し、写真を多くちりばめ読み応えのあるものになっています。

6. 新しい展開

植樹会の活動の基本は、キャンパスの緑の保全と環境整備のためのボランティア作業ですが、冒頭述べましたように国立キャンパスの緑を別の形で教育に役立てたいという先輩方の思いを実現する方策を探ってまいりました。

プロジェクトチームで検討を進めてきましたが、ようやく植樹会が費用を負担して行う「緑の科学」というタイトルの寄附講義の開設に目途をつけることが出来ました。講義の詳細は、24年度事業計画の中でご報告します。

植樹会活動の幅が、ボランティア作業から広がることにより、大学や学生と植樹会との連携が更に深まることが期待されます。



《学生担当の植栽ゾーン》

平成23年度事業報告（付表）

(1) 作業参加者の推移

(人)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	増減
卒業生	464	531	502	-29
教職員	50	90	71	-19
学生	481	598	704	106
計	995	1,219	1,277	58
1回あたりの 平均作業参加者数	77 (13回)	87 (14回)	98 (13回)	11

(2) 会員数の推移

(人)

会員種類		平成22年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	増減
個人	卒業生	998	1,097	1,140	43
	教員	46	43	45	2
	職員	37	38	35	-3
	(小計)	(1,081)	(1,178)	(1,220)	42
団体		16	16	15	-1
特別		5	5	5	0
学生		51	45	45	0
合計		1,153	1,244	1,285	41
(有料会員)		1,083	1,172	1,208	36
* (免除会員)		70	72	77	5

*免除会員→卒業後2年未満の卒業生会員+特別会員(除法人)+学生会員

*平成24年3月末現在、個人会員(卒業生、教員、職員)1,220名のうち、
終身会員数178名。

(3) 卒業生会員卒業年次ブロック別会員数

年次	会員数	割合	年次	会員数	割合
昭15~29	94	8%	昭55~59	75	7%
30~34	127	11%	昭60~平1	61	5%
35~39	260	23%	平12~6	44	4%
40~44	220	19%	平17~11	11	1%
45~49	113	10%	平12~16	2	—
50~54	78	7%	平17~	55	5%
総会員数			1,140		

【植樹会の活動】



《定例作業の様子》



《休日作業の様子》

休日作業後にキャンパスツアーを実施



《卒業記念植樹》



《作業後交流会の様子》

《一橋祭での森のクラフト教室》



平成23年度収支決算 及び 平成24年度予算案 (単位：千円)					
科 目	平成23年度予算	(内訳)	実績	比率(%)	平成24年度予算案
I. 収入の部					
1. 会費	3,500		3,341	95	3,450
1) 団体		200	220		170
2) 個人		3,300	3,121		3,280
2. 如水会支援	600		600	100	600
3. 大学後援会	100		100	100	100
4. 特定収入	500		583		500
1) 総会会費		350	320		350
2) 募金(カンパ)		50			
3) 寄付		90	148		150
4) その他		10	115		
5. 大震災募金受入			56		
当期収入	4,700		4,681	100	4,650
4. 前期繰越	2,150		2,150		1,336
収入合計(A)	6,850		6,831	100	5,986
科 目	今期予算		実績	比率(%)	
II. 支出の部					
1. 学園祭賛助・参加費	460		280	61	430
2. 組織強化(学生)	450		427	95	280
3. 集会所備品	150		138	92	130
4. 組織強化(一般)	100		245	245	50
5. HPメンテナンス	550		619	113	500
6. 広報用印刷物	340		222	65	520
7. 総会費用	650		779	120	730
8. 記念植樹費・管理費	270		226	84	200
9. 学生植樹支援	270		215	80	160
10. 作業道具・備品	150		27	18	75
11. 保険料	120		152	127	125
12. 会議費	170		162	95	210
13. 作業後交流会	1,000		1,116	112	1,000
14. 事務・通信連絡費	400		208	52	220
15. 寄附講義運営費			500		0
16. 雑費	220		123	56	170
17. 大震災募金払出			56		
支出合計(B)	5,300		5,495	104	4,800
次期繰越	1,550		1,336	86	1,186

一般会計 貸借対照表 平成24年3月31日 (単位：千円)			
資産の部		負債の部	
現金	0	普通会員前受金	12
普通預金	1,348	繰越金	1,336
未収金	0	預かり金	0
その他	0	その他	0
合 計	1,348	合 計	1,348

終身会員会計 貸借対照表 平成24年3月31日 (単位：千円)			
資産の部		負債の部	
普通預金	429	終身会員前受金	3,929
定期預金	3,500		
合 計	3,929	合 計	3,929

監 査 報 告 書

平成24年4月12日

一橋植樹会会長 旗野友夫 殿

私どもは、一橋植樹会の平成23年4月から平成24年3月までの事業年度における理事の業務執行状況を監査するため、理事から業務の報告を聞くなど必要と認めた手続きを実施しました。

また、同事業年度の収支及び財産の状況を検討するため、決算報告書、すなわち収支計算書および関連書類について監査を行いました。

監査の結果、理事の業務の執行は適切であり、また、上記決算報告書は収支の状況を正しく表示しております。

一橋植樹会

監事 住田 笛雄

監事 小塚 埜武寿

第 2 号 議 案 一 橋 植 樹 会 役 員 案 (敬 称 略) ☆…平成24年度新任の役員

会 長	八 藤 南 洋	(昭 40 経)	理 事	秦 哲 也	(昭 50 社)
顧 問	福 嶋 司	東京農工大学院名誉教授	”	田 山 毅	(平 6 経)
”	田 中 政 彦	(昭 35 経)	”	山 内 進	学長(昭 52 博法)
副会長	佐 藤 征 男	(昭 42 経)	”	金 田 正 男	学長特別補佐
”	湯 川 敏 雄	(昭 42 社)	”	小 川 英 治	副学長(昭 61 博商)
”	筒 井 泉 雄	大学教育研究開発センター長	”	落 合 一 泰	副学長
理 事	石 原 一 子	(昭 27 学)	”	田 崎 宣 義	名誉教授(昭 51 博社)
”	河 野 正 次	(昭 31 商)☆	”	米 山 高 生	商学研究科教授(昭 57 博経)
”	辻 卷 孝	(昭 34 商)	”	林 大 樹	社会学研究科教授(昭 59 博社)
”	國 持 重 明	(昭 35 経)	”	林 一 義	大学事務局長☆
”	土 田 将 夫	(昭 37 商)	”	柴 田 大	大学施設課長
”	旗 野 友 夫	(昭 38 経)	”	平 沼 吉 明	大学学生支援課長☆
”	志 田 哲 朗	(昭 39 経)	”	青 山 佳 広	(商 4 年)
”	関 戸 康 男	(昭 40 社)☆	”	荒 木 悠 一	(経 4 年)
”	栗 田 克 彦	(昭 41 商)	”	佐 田 勇 悟	(経 4 年)☆
”	夏 目 恭 宏	(昭 41 商)	”	藤 田 崇 文	(経 4 年)
”	樋 口 文 夫	(昭 41 法)	”	吉 川 和 樹	(経 4 年)
”	関 統 造	(昭 41 社)	”	古 川 智 子	(法 4 年)
”	西 村 周 一	(昭 42 経)	”	有 上 ひ と み	(社 4 年)
”	川 村 忠 太 郎	(昭 42 法)	”	佐 谷 祐 介	(社 4 年)☆
”	高 場 恭 幸	(昭 43 経)	”	田 島 壮 一 郎	(社 4 年)
”	五 島 康 晴	(昭 44 経)	”	原 田 義 史	(商 3 年)
”	保 坂 証 司	(昭 44 社)	”	齊 藤 万 純	(経 3 年)☆
”	田 中 襄 一	(昭 45 商)	”	鈴 木 葵	(経 3 年)☆
”	樋 浦 憲 次	(昭 45 経)	”	古 澤 健 介	(経 3 年)☆
”	川 崎 勝 晤	(昭 46 経)	”	堀 田 智 帆	(経 3 年)☆
”	岩 城 悦 子	(昭 47 商)	”	宮 島 壮 史	(経 3 年)☆
”	大 川 宏 明	(昭 47 経)	”	善 谷 実 央	(社 3 年)☆
”	横 塚 裕 志	(昭 48 商)	監 事	小 塚 埜 武 寿	(昭 41 商)
”	高 橋 治 夫	(昭 48 法)	”	小 池 良	(昭 52 商)☆
退 任 役 員		山 本 千 里(昭 31 商)		吉 野 正 巳(前大学事務局長)	玉 田 祐 樹(平 24 経)
		住 田 笛 雄(昭 36 商)		長 岡 篤(前学生支援課長)	中 西 晶 子(平 24 法)
		中 居 紘 一(昭 38 経)			小 川 優 貴(平 24 社)
		鐘 江 健 一 郎(昭 44 法)		二 宮 (西 野) 陸(平 24 商)	垂 水 洸 嗣(平 24 社)
		杉 山 武 彦(昭 49 博商)		渡 邊 麗(平 24 商)	

平成24年度一橋植樹会幹事会組織（案）

1 企画・統括班 幹事 正) 西村理事 副) 川村理事

1) 企画グループ 西村理事、高橋理事、夏目理事（兼務）

担当：事業計画、予算・決算、幹事会、総会、大学との窓口
学内外研修、寄附講義

2) 組織統括グループ 川村理事、川崎理事

担当：組織強化、卒業生・教職員・団体・特別会員（学生以外の会員）の
増強、会員名簿管理、会費徴収とフォローアップ

2 学生班 幹事 正) 夏目理事 副) 保坂理事

担当：学生会員の勧誘・作業参加促進・交流会活性化、卒業記念植樹
学園祭への参加、学生会員の名簿管理

3 広報班 幹事 正) 佐藤副会長 副) 高場理事、大川理事

担当：HPの更新&案内、如水会々報への投稿、学内誌との連携
小冊子・チラシ等の作成

4 作業班 幹事 正) 湯川副会長 副) 志田理事、関戸理事候補（新）

樋口理事、五島理事、川崎理事（兼務）、樋浦理事（新）

担当：月次作業企画と案内、交流会準備と実行、用具・備品の購入・管理
事故対策、キャンパス外作業支援

注① 一応班制を継続採用するが、出来るだけ flat な組織とし、横断的且つ flexible
に運用し、PTを中心に活動を推進して行く。

注② 組織の基盤強化が重要課題であり、新植樹会10周年に向け会員の増強・維持
に全幹事で注力して行く。

第3号議案 平成24年度事業計画

基本方針

1. 「国立キャンパス緑地基本計画」に基づき、安全に留意し、キャンパスの緑の保全と環境整備に取り組みます。
2. 卒業生、教職員、学生の三位一体による活動を通して、オール一橋の交流の輪を広げて行きます。
3. キャンパスの緑や環境について学ぶだけでなく、次世代を担う学生に緑を中心に広く自然科学を学ぶ機会を提供して行きます。

具体的活動計画

1. ボランティア作業

(1) 定例作業

本年度も、前年度と同様、毎月一回の作業（8月を除く）と、一橋祭、KODAIRA祭の事前共同作業で、合計13回の作業を予定します。

作業内容は、「国立キャンパス緑地基本計画」に沿って、作業適期を意識しつつ、都度大学側と綿密な打合わせのうえ、決定していきます。作業を通して緑地の保全、維持などについての知識、スキルの向上を目指します。

作業後の交流会についても、メンバー間の交流促進の場として、より一層工夫し、内容を充実させて、参加者増につなげていきたいと考えます。

(2) 休日作業

前年度に引き続き、仕事や授業の関係などで平日の作業に参加できない方のために、作業を体験してもらう催しを10月13日（土）に企画します。

(3) 奇蹟植樹

従前より年一回実施してきた奇蹟植樹を本年度も実施します。樹種、時期、場所などは今後大学側と協議して決定します。

(4) 緑地基本計画レビュー

「国立キャンパス緑地基本計画」の進捗状況についての調査、取りまとめについて、サポート活動を行います。

この過程で、計画の見直しなど適宜大学へ意見具申すると共に、計画未達の項目のうち、植樹会で対応可能なものについては、定例作業に組み込むことを検討します。

2. 学生の主体的活動の推進

学生理事を中心に学生の主体的活動が更に拡大することを目指して下記事項を推進します。

(1) 新たな魅力作りへ

昨年度新たに実施した学生の植栽ゾーン「国立のお花畑」の維持・充実を図ります。また、KODAIRA祭、一橋祭での学生参加のあり方の見直し、及び卒業生記念植樹への参加の呼び掛けなど様々な工夫を通して、学生にとっての植樹会の魅力の増大を図って行きます。

(2) 学生の作業参加の促進

KODAIRA祭及び一橋祭の実行委員会との共同作業及び体育会との共同作業を継続実施します。作業参加学生のメールアドレスの把握と作業参加のリピーター化等のきめ細かい対応により、学生の作業参加者を増やします。

(3) 学生会員の増強

植樹会寄付講義「緑の科学」の受講をPRし、或いは4月の新入生歓迎イベントでの「緑の30景」配布することにより、植樹会の存在を広報し、学生会員拡大の素地作りを行います。

3. 組織強化活動

長期的には、会員の倍増を目指していきますが、過去5ヶ年は年平均100名の会員増であることから、本年度も100名の純増を目標とします。

(1) 新会員の勧誘活動

①ホームカミングデーや卒業周年大会等のイベントに際しては植樹会のPRが出来るよう、年次連絡幹事と共同して勧誘活動を行います。

②卒業年次連絡網を拡充し、年次会内部の連絡や勧誘活動を行います。

(2) 新規作業参加者の増加

- ①休日作業への参加促進を図ります。
- ②HP や如水会会報を通して作業に関する情報を提供します。

4. キャンパス外活動

他大学のキャンパス見学などの外部研修、外部奉仕を実施します。

5. 広報活動

(1) 如水会々報

引き続き内容の充実に努めます。

(2) HP

HPの閲覧（ヒット件数）をさらに増加させるべく、施策を検討して参ります。

(3) 小冊子第6号

新生植樹会発足後 5 回開催してきた会員用情報誌「小冊子」を本年度編集・発行予定です。

(4) 「緑の30景」改訂版

昨年度に誕生した「緑の30景」の抜本の見直しを行い、改訂版を1年以内に発刊するべくプロジェクト・チームを立ち上げ、検討に入ります。

6. 新しい取り組み

(1) あり方会の継続

一昨年立ち上げた植樹会の今後のあり方を検討する「あり方会」を継続し、主要テーマを組織横断で議論して行きます。

(2) 寄附講義の継続

初めての試みとして4月9日に開講した「緑の科学」は教育共通科目として夏学期15コマ（2単位取得）を福嶋司東京農工大名誉教授、筒井泉雄教授、関統造如水会事務局長の講師陣で指導に当たられます。座学に加えキャンパスの自然を材料にフィールド・ワークも行います。来年度以降も継続予定であります。

(3) 植樹会の活動理念やキャンパスの素晴らしさを伝える催しを講習会形式で年一回は開催すべく検討して参ります。

(4) 緑のキャンパス・ツアー・ガイドの育成を卒業生及び学生を対象に行います。

《坐忘伊藤助成記念山荘での清掃作業》



《寄附講義『緑の科学』》



講義を行う福嶋先生

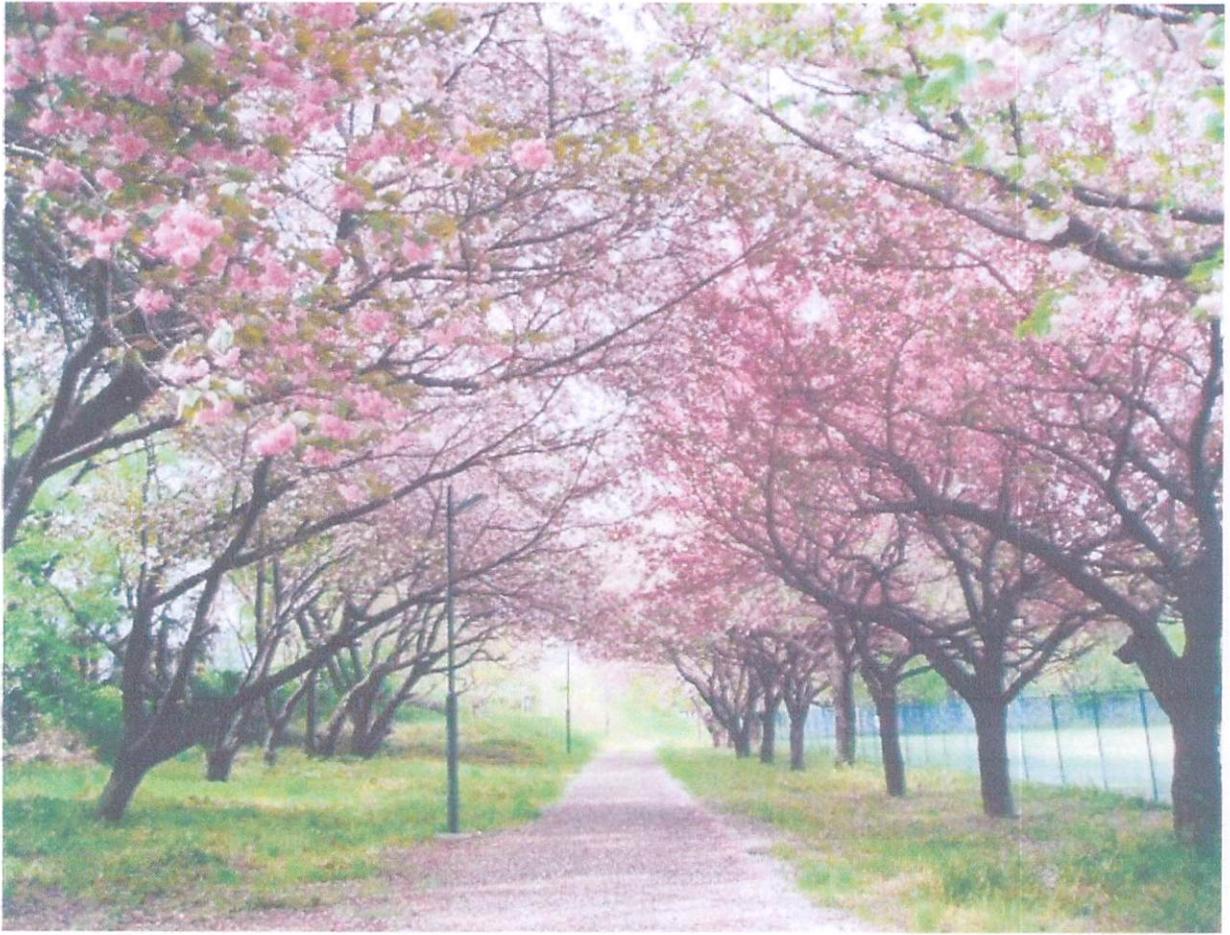


講義に参加の学生

平成24年度植樹会総会出席者名簿（敬称略）

	氏名	卒業年度	備考		氏名	卒業年度	備考	
1	中村 敬太郎	昭 25	学	51	松村 順二	昭 54	経	
2	石原 一子	昭 27	学	52	佐々木 強	昭 54	法	
3	河野 正次	昭 31	商	53	末松 義規	昭 55	商	
4	米川 容子	昭 31	家	故・米川伸一令夫人	54	酒井 雅子	昭 57	法
5	竹内 啓介	昭 32	経	55	田所 亮子	昭 63	経	
6	兵藤 浩	昭 34	経	56	中西 晶子	平 24	法	
7	小川 賢幸	昭 34	法	57	小川 優貴	平 24	社	
8	岸田 加代	昭 35	家	故・岸田登令夫人	58	中野 晶子	博 言 社	
9	國持 重明	昭 35	経	59	古川 智子	法 4		
10	國持 良子	昭 35	家	60	有上 ひとみ	社 4		
11	田中 政彦	昭 35	経	61	田島 壮一郎	社 4		
12	北村 輝文	昭 35	社	62	齊藤 万純	経 3		
13	住田 笛雄	昭 36	商	63	鈴木 奨	経 3		
14	杉森 登	昭 37	商	64	善谷 実央	経 3		
15	土田 将夫	昭 37	商	65	古澤 健介	経 3		
16	藤木 隆三	昭 37	経	66	堀田 智帆	経 3		
17	若林 照二	昭 38	商	一 橋 大 学				
18	出野 潔	昭 38	経					
19	簸野 友夫	昭 38	経					
20	佐藤 好明	昭 39	商					
21	志田 哲朗	昭 39	経					
22	鈴木 徹郎	昭 39	社					
23	瓦林 秀嗣	昭 40	経	67	山内 進	学長		
24	八藤 南洋	昭 40	経	68	筒井 泉雄	大学教育研究開発センター長		
25	関戸 康男	昭 40	社	69	草薨 公	総務課長		
26	小塚 埜武寿	昭 41	商	70	矢澤 昌江	学生支援課長代理		
27	夏目 恭宏	昭 41	商	71	伊藤 正秀	施設課		
28	土田 進	昭 41	経	72	坪谷 英樹	施設課		
29	樋口 文夫	昭 41	法	73	岩月 律子			
30	吉田 裕敏	昭 41	法					
31	江口 栄治	昭 41	社					
32	関 統造	昭 41	社					
33	吉田 佑一	昭 41	社					
34	津田 正道	昭 42	商					
35	佐藤 征男	昭 42	経					
36	西村 周一	昭 42	経					
37	川村 忠太郎	昭 42	法					
38	湯川 敏雄	昭 42	社					
39	高場 恭幸	昭 43	経					
40	五島 康晴	昭 44	経					
41	保坂 証司	昭 44	社					
42	柳原 和道	昭 44	社					
43	荻布 知三	昭 45	商					
44	川崎 勝晤	昭 46	経					
45	金子 彰	昭 46	法					
46	大川 宏明	昭 47	経					
47	高橋 治夫	昭 48	法					
48	河村 進	昭 49	経					
49	高橋 正明	昭 50	法	国立国分寺支部幹事				
50	小池 良	昭 52	商					

《MEMO》



《岸田ロードの桜並木》



Let's Green & Clean
一橋植樹会